

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 12 月 7 日 (2006.12.7)

【公表番号】特表 2002-533510 (P2002-533510A)

【公表日】平成 14 年 10 月 8 日 (2002.10.8)

【出願番号】特願 2000-589617 (P2000-589617)

【国際特許分類】

C 0 8 L 21/00 (2006.01)

C 0 8 L 7/00 (2006.01)

C 0 8 L 9/00 (2006.01)

C 0 8 L 23/00 (2006.01)

C 0 8 L 23/16 (2006.01)

C 0 8 L 23/22 (2006.01)

C 0 8 L 51/00 (2006.01)

C 0 8 L 53/00 (2006.01)

C 0 9 J 121/00 (2006.01)

C 0 9 J 123/00 (2006.01)

C 0 9 J 123/16 (2006.01)

C 0 9 J 123/22 (2006.01)

C 0 9 J 151/00 (2006.01)

C 0 9 J 153/00 (2006.01)

D 0 6 M 15/227 (2006.01)

D 0 6 M 15/693 (2006.01)

D 0 6 M 101/20 (2006.01)

D 0 6 M 101/32 (2006.01)

D 0 6 M 101/34 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 21/00

C 0 8 L 7/00

C 0 8 L 9/00

C 0 8 L 23/00

C 0 8 L 23/16

C 0 8 L 23/22

C 0 8 L 51/00

C 0 8 L 53/00

C 0 9 J 121/00

C 0 9 J 123/00

C 0 9 J 123/16

C 0 9 J 123/22

C 0 9 J 151/00

C 0 9 J 153/00

D 0 6 M 15/227

D 0 6 M 15/693

D 0 6 M 101:20

D 0 6 M 101:32

D 0 6 M 101:34

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 19 日 (2006.10.19)

【手続補正１】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項１】金属、成形された極性ポリマー及び紡織繊維に対する接着性を有する熱可塑性エラストマーであって、前記熱可塑性エラストマーが、

a) 動的に架橋されたゴム、

b) 約２０乃至約４００部の、約１０乃至約２６．５重量％の結晶度及び約５，０００ｐｓｉ（３４．５ＭＰａ）乃至約２０，０００ｐｓｉ（１３８ＭＰａ）の曲げ弾性率（タンジエント）を有する第１のポリオレフィン、及び

c) 約１０乃至約２００重量部の、側鎖状の極性官能基を有する官能化されたポリオレフィンであって、前記極性官能基が前記官能化されたポリオレフィンの全繰り返し単位の約０．５乃至約３．５モル％で存在し、前記官能化されたポリオレフィンが、少なくとも１つのモノオレフィンを半結晶性ポリマーに重合することから誘導されるか、又はブロックコポリマーのポリジエンブロックを水素添加することから誘導される、官能化されたポリオレフィン、

を含み、そして 前記重量部が、架橋されたゴムの１００重量部に基づくものである、熱可塑性エラストマー。